

福井県自転車活用推進計画における成果と課題（1）

施策【1】自転車利用者に優しい環境づくり

- ①自転車通行空間の計画的な整備と保全
- ②公共交通機関、商業施設等との接続強化

●成果

成果指標の達成状況

- ・利用環境に対する満足度の向上（R元:36%→R6:40%）・・・・・・・・・・未調査（R6調査実施）
- ・レンタル・シェアサイクル拠点の増加（R元:70か所→R6:100か所）・・・・87か所（R5年度末時点）

主な実施事業

- ・若狭湾サイクリングルートや北潟湖周遊サイクリングモデルルートにおける矢羽根等の路面標示
- ・通学路交通安全プログラムに基づく対策必要箇所について、路面表示の設置を実施
- ・通勤や通学時の公共交通の利用促進の呼びかけ
- ・サイクルレーンの運行
- ・自転車の駅の整備（R2:97か所→R5:158か所）

●課題

- ・サイクリングルートの舗装等の継続的な整備
- ・「自転車の駅」の認知度向上

福井県自転車活用推進計画における成果と課題（2）

施策【2】自転車と暮らすライフスタイルの推進

- ①日常的な利用に向けた広報啓発
- ②自転車通勤の促進
- ③サイクリングやサイクルスポーツの振興
- ④自転車に親しむ機会づくり

●成果

成果指標の達成状況

- ・週に1日以上自転車を利用する人の割合（R元:39%→R6:45%）・・・未調査（R6調査実施）

主な実施事業

- ・自転車の無料点検会の実施
- ・スタンプラリーやフォトコンテスト、サイクリングイベント等の実施
- ・自転車養成講座の開催
- ・県内のスポーツイベント情報をまとめた「福井県スポーツ情報ポータルサイト」の公開

●課題

- ・日常的な自転車利用者を更に増やす取組みの実施

福井県自転車活用推進計画における成果と課題（3）

施策【3】サイクルツーリズムの推進による観光振興

- ①受入環境のさらなる整備充実
- ②サイクリングイベントのPR強化

●成果

成果指標の達成状況

- ・ レンタル・シェアサイクルの年間利用者（R元:12千人→R6:15千人）・・・36千人（R5末時点）

主な実施事業

- ・ 「若狭湾サイクリングルート」「三方五湖周遊ルート」「福井・坂井・永平寺観光地アクセスルート」をモデルルートとして設定
- ・ 自転車の情報メディア「TABIRIN」や「九頭竜ぐるっとペダル」公式ホームページ等において情報発信
- ・ ビワイチと連携したPRやフォトコンテストの実施

●課題

- ・ サイクリングルートの整備
（嶺北と嶺南を結ぶコースや北陸3県を結ぶルート等）

福井県自転車活用推進計画における成果と課題（４）

施策【４】自転車事故の無い安全で安心な社会の実現

- ①自転車利用者に対する交通安全意識の向上
- ②自動車運転者に対する交通安全意識の向上

●成果

成果指標の達成状況

- ・ 自転車事故発生件数の抑制（R元:127件→R6:年間127件以下） 90件（R5年度末時点）
- ・ 交通安全教室を実施している小・中学校、高等学校の割合（R元:97%→R6:100%）
. 100%（R5年度末時点）

主な実施事業

- ・ 福井県自転車の安全で適正な利用に関する条例の施行
- ・ 高齢者向け交通安全教室や学校における自転車教室の実施

●課題

- ・ ヘルメット着用率が全国平均より低い
（福井県着用率 6.8%（全国平均13%） [R5警察庁交通局] ）
- ・ 自転車損害賠償責任保険加入割合が全国平均より低い
（福井県加入率 57.0%（全国平均65.6%） [2024au損害保険調査]

福井県自転車活用推進計画における課題まとめ

- サイクリングルート of 舗装等の継続的な整備
⇒計画に整備の方向性を盛り込んだうえで、関係者間で定期的に議論し整備を促進する必要
- サイクリングルート of 整備
(嶺北と嶺南を結ぶコースや北陸3県を結ぶルート等)
⇒・関係者間でルート設定および整備の合意形成を進める必要
・若狭湾サイクリングルート of ナショナルサイクルルート (NCR) 獲得に向けた取組みや認定後の利活用推進を検討
- 「自転車の駅」 of 認知度向上
⇒県民への周知方法等の検討
- 日常的な自転車利用者を更に増やす取組み of 実施
⇒普段車を利用する人が自転車を利用したくなる環境整備やPRが必要
- ヘルメット着用率が全国平均より低い
⇒県民 of 交通安全意識向上に向けた取組みを検討する必要
- 自転車損害賠償責任保険加入割合が全国平均より低い
⇒県民 of 交通安全意識向上に向けた取組みを検討する必要



計画策定に向けた施策等について、整備（ハード面）と利用環境（ソフト面）に分けて、それぞれの部会において議論

現行計画および国の自転車活用推進計画に定める目標を踏まえて 計画改定を行ってはどうか

【国の自転車活用推進計画（R3）の目標および主な施策】

目標1 自転車交通の役割拡大による良好な都市環境の形成

- ・「自転車車線」の設置検討
- ・道路標識・道路標示・信号機の適切な設置・運用
- ・路外駐車場等の整備および違法駐車取締り など

目標2 サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現

- ・公道や公園を活用した安全環境の創出
- ・健康増進と連携した観光事業の促進
- ・自転車通勤の呼びかけ など

目標3 サイクルツーリズムの推進による観光立国の実現

- ・広域的なサイクリングロードの整備
- ・サイクルトレインの実施
- ・サイクリスト受入サービスの充実の要請 など

目標4 自転車事故のない安全で安心な社会の実現

- ・安全性の高い自転車普及の促進
- ・自転車の点検整備の促進
- ・交通ルールやヘルメット着用の広報啓発 など

⇒国の目標および施策は県の現行計画とリンクしている部分が多い



国の目標を参考に、福井県独自の施策（若狭湾サイクリングルートでのNCR獲得とその活用等）を
組合わせた計画にしてはどうか